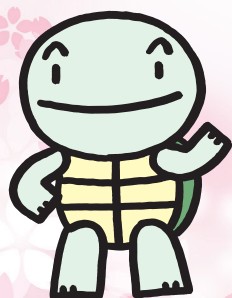




2025年4月1日より

春日丘センター・東高瀬川センターで
地域密着型特別養護老人ホーム事業

開始しました!



京都老人福祉協会の理念

尊厳

信頼

先駆

共同

CONTENTS

- **特集** 春日丘センター・東高瀬川センターで特養事業開始!
- 家族会の活動
- 藤森センターほっこり 異世代交流
- うづらこども園 子どもたちが好きな給食特集
- きっちゃん「さくら」栄養ケアマネジメント
- 編集後記





春日丘センター・東高瀬川センターで特養事業開始！

2025年4月から春日丘センターと東高瀬川センターで新しく地域密着型特別養護老人ホーム事業を開始しました！特別養護老人ホーム（通称：特養）は、原則要介護3以上の認定を受けている方を対象とした入居施設です。

「これまであなたが大切にしてきた暮らし、自分らしさをこれからもずっと大切にしたい」をコンセプトに、サービスご利用中も、その方の思い思いの時間を過ごしていただけるよう心がけています。職員やご利用者さま同士でお話を楽しまれたり、ソファでゆっくりされたり、カラオケを楽しまれたり…。そしてご本人が不安に思われるときは、介護の専門職がサポートします。

また、当法人は調理部門を運営しているため、どちらのセンターにも厨房が完備されています。ショートステイサービスだった頃から、専任の管理栄養士が毎日のお食事はもちろん、行事食やおやつなども心を込めて調理提供しており、ご利用のみなさまにもご好評いただいています。



春日丘センター



東高瀬川センター

各センターがそれぞれの目標を掲げています。目標にそった支援をみなさまにお届けできればと思います。

春日丘センター

住まいがかわっても自分らしく、最後までその人らしい暮らしを。お一人おひとりの気持ちに寄り添うことを目指します。

東高瀬川センター

ご利用者さまの心に寄り添い、生きがいをもって楽しく暮らせるよう援助させていただきます。

施設の見学希望・料金やサービスに関するお問い合わせ・お困りごとなどがありましたら、お気軽にご相談ください。またホームページからは、パンフレット・申込書もダウンロードいただけますので、そちらもぜひご活用ください。

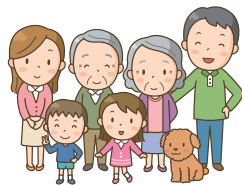
京都老人ホーム 家族会の活動



2020年のコロナ禍以降、ご利用様の家族様主催の家族会は中止や規模の縮小などが続いておりました。2023年より、感染症対策を行いながら、ご家族様の協力をいただき、そのご厚意もあり少しずつですが活動が再開しています。今回は活動内容についてご紹介させていただきたいと思います。

参加者

以前、京都老人ホームに住んでおられたご利用様の家族様や、現役で住んでおられる利用者様の家族様のほか、相談員がサポートをしながら進めています
(参加者随時募集中です!)



・主な活動内容

掃 除

こちらは感染症対策を行いながらコロナ禍にも実施していました。

有志により、お風呂場の溝掃除や花壇の手入れ、ホーム内の掃除をしてくださっています。

また、天気の良い日には外の掃除を行なっていたでいます。

ここ最近では高压洗浄機を導入するなど、少しでも掃除をしやすい環境を整えています。



家族会喫茶

家族会の大きな行事として家族会喫茶があります。

こちらは毎年10月～11月頃に開催しています。

ここ数年はコロナ禍の影響もあり中止が続いていましたが、2023年ごろより再開をしています。

こちらは家族会が主催で行っており、ご希望の利用者様にコーヒーや茶菓子を提供しています。

美味しいケーキに利用者の皆様が舌鼓を打たれていました。



今年はケーキや和菓子、プリンなどを提供していました!

今回もご家族様や相談員、当日出勤の職員のご協力があり、無事終了しました!

来年も開催できることを楽しみにしています。

藤森センターほっこり 異世代交流

藤森センターほっこりは、伏見・藤森神社のお隣にあり、子ども・障がい・高齢の『共生型』施設として誕生しました！『異世代交流』が醍醐味の施設です。

異世代交流として、当センターでは季節に合わせたイベントを企画し、子どもから高齢の方まで和気あいあいと交流を楽しまれています。異世代交流により、いつもと違う雰囲気から、利用者皆様の新たな一面を知ることができます。そこには相手を思いやる気持ちや、人が備えている共感性が垣間見えます。また、結果的に近隣にお住まいの方同士の関わりを発見することも多々あり、地域の繋がりを感じる貴重な機会となります。

今年の1月にはセンター内合同の新年会を開催しました。手作りの神社にお参りをし、新年の抱負を絵馬に書いたり、放課後等デイサービスにじっこひろばとデイサービスの利用者様と一緒に昔遊びもしました。紙風船での遊びでは、子どもから高齢の方まで皆さんにこやかな表情をされ、とても盛り上がったイベントとなりました。

これからも『共生型』施設として異世代交流を行い、利用者様に「来てよかった!」「楽しかった!」と思っただけのような機会を作っていけるように努めてまいります。

おもちゃ
いかがですか？



みんなで
紙風船！



絵馬に新年の
抱負を書いています



子どもたちも
絵馬を書いています



絵馬を
飾ろう！



手作り神社で
お参り



手作りけん玉





うづらこども園

子どもたちが好きな給食特集

うづらこども園では毎日栄養たっぷりの給食を食べており、さまざまなメニューが提供されています。子どもたちの間ではどのメニューが人気なのか、気になりますよね？そこで今回はうづらこども園に通っている幼児さんたちにインタビュー調査をしました！

1番人気の給食は、
大人も子どもも
大好きな…

味噌ラーメン
でした!!



ラーメンの麺、スープは美味しく、具材もたっぷりでボリューム満点の給食です。味噌ラーメンの具材には豚肉、にんじん、玉ねぎ、コーン、青菜、ねぎが使われており、スープの味付けには、生姜、にんにく、米味噌（淡色辛みそ）、食塩、コンソメ、醤油を使っています。美味しい味付け、麺は中華麺でサラッと完食してしまいます。

子どもたちからは、「ラーメンは美味しいから好き」「もっとおかわりしたかった」という声が挙がっており、ラーメンがメニューの日は子どもたちも朝からテンションが高いです。それくらい人気の給食となっています。

また、「苦手なやつもあったけど、毎日『なんのごはんかな?』って楽しみにしていた」という意見もあり、子どもたちにとって給食が毎日の楽しみのひとつなんだと実感しました。

その他にも人気が高かった給食は、ホットドック、かぼちゃのポタージュ、フルーツヨーグルト、サンドウィッチ、皿うどん、餃子、ポテト、ハンバーグ、からあげ、カレー、手巻き寿司、ピザトーストなどでした。



サンドウィッチ



カレーライス



ハンバーグ

きっちん「さくら」 栄養ケアマネジメント



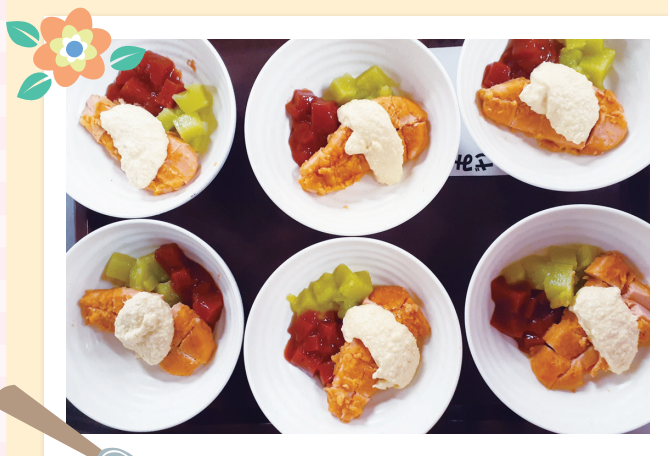
当法人の特別養護老人ホームでは管理栄養士が配置されており、栄養ケアマネジメントを行なっています。でも、どんな仕事をしているのかをあまり知る機会はありませんよね。今回は施設で働くスタッフさんにどんな仕事をしているのか聞いてみました!

私は特別養護老人ホームで、ご利用様が安全で美味しく食事を楽しめるように栄養ケアを行なっています。お一人おひとりの生活スタイルや健康状態、食べ物の好みを把握し、体の機能や病気の状態に合わせた食事を提供することを目指しています。例えば、食事の場面を観察して、噛む力や飲み込む力を評価し、必要に応じて専門職と連携して改善策を考えます。ご利用様がいつまでも食事を楽しめるよう、日々工夫を重ねています。

特に力を入れているのが「ソフト食」の提供です。ソフト食とは、見た目は普通の料理に近いけれど、舌でつぶせるほど柔らかい食事のことです。高齢になると噛む力や飲み込む力が弱くなり、食事が難しくなることがあります。ソフト食はその課題を解決するための工夫です。例えば、窒息の危険があるお餅の代わりに「お餅風のソフト食」を作ったり、焼き芋の代わりに「焼き芋風スイーツポテト」を提供しています。これらは安全で食べやすいだけでなく、見た目も美しく、ご利用者様から好評をいただいています。



焼き芋風スイーツポテト



ムースタイプの鮭フライ



餃子

食事は単なる栄養補給の手段ではなく、生活の楽しみであり、健康を維持するためにも重要な役割を果たします。そのため、私はご利用様が安心して食事を楽しめる環境を作ること大切にしています。柔らかい食材を選んだり、調理方法を工夫したりして、見た目にも美しい食事を提供することで、食べる喜びを感じていただけるよう努めています。また、形態が変わることで食事への抵抗感を持つ方もいらっしゃるため、見た目の工夫にも力を入れています。

これからもご利用様の食べやすい形でおいしく安全に召し上がっていただけるように日々励んでいきます。

編集後記

特養事業を開始した春日丘センターと東高瀬川センターをはじめ、当法人の事業所では「おいしい食事」をアピールポイントにすることが多いです。食事は生きていく上で欠かせない、すべての人の関心事でしょう。当法人の食事に対する取り組みについて、今後たくさん取り上げて発信していきたいと考えています。

広報委員 奥田